

シーリング材用プライマー

シープラ

系統 エポキシ樹脂系下塗塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特長

- 1) 各種シーリング材への塗装が可能で、その密着性に優れます。
- 2) シーリング材に起因する汚れを軽減することができます。
- 3) 幅広い中塗り・上塗適性があります。
- 4) 弱溶剤形なので旧塗膜を侵しません。
- 5) 低臭気で塗装作業性に優れます。

塗装条件

塗装方法	はけ				
希釈率	0%				
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.10				
希釈剤	—				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗料性状

項目	内容
1 荷姿	1kgセット ベース: 0.8kg 硬化剤: 0.2kg
2 混合比	ベース / 硬化剤 = 4 / 1
3 色	銀色系
4 つや	—
5 仕上がり感	平滑
6 塗料比重	1.02
7 溶剤比重	0.86
8 加熱残分	60%
9 効物表示 (品名・含有量)	—
10 労安法上の 表示有害物	ベース: — 硬化剤: キシレン
11 有機則/特化則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12 消防法による 危険物区分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬化剤の成分 による区分	ケチミン

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装間隔

項目	温度	
	最短	16時間
標準塗装間隔	最長	7日
使用时限	6~7時間	

主な適用素材

各種シーリング材
(シリコーン系、変成シリコーン系、ポリサルファイト系、ポリウレタン系)
コンクリート、モルタル、アルミ

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

シーリング材を先打ち後、上塗塗料の種類に応じた下塗塗料を塗装して下さい。
マルチタイルコンクリートプライマーEPO、エコカチオンシーラー、
エポマリンGX、アレスホルダーHG 等

使用上の注意事項

- 1) ベース塗料は開缶後、良くかき混ぜて中味を均一にし、使用の際はベース／硬化剤の混合比率を守って塗装して下さい。
- 2) 硬化剤を使用する際、低温時増粘している場合がありますので加温(低粘度化)してからご使用下さい。
- 3) ベースと硬化剤を混合したものは、所定時間以内に使いきって下さい。所定時間以上経過したものは、初期の塗膜性能や塗装作業性が低下する恐れがあります。
- 4) シーリング材充填後の塗り重ね時間は、各種シーリング材製造メーカーの使用方法をご参照の上、塗装して下さい。
- 5) シーリング材の汚れ・表面付着物・可塑剤などは、シンナー中性洗剤などで十分洗浄除去し乾燥させてから塗装して下さい。
- 6) 塗装用具等の洗浄はラッカーシンナーを用いて行って下さい。
- 7) 塗装時ならびに塗料の取り扱い時には換気を十分に行い、火気厳禁として下さい。
- 8) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こす場合があります。
皮膚につかないように注意して下さい。
- 9) シープラ塗装部には、必ず下塗り塗料を塗装して下さい。
上塗塗料を直接塗装すると付着性を損なう事があります。
- 10) 換気のよい場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 11) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS
(安全データーシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。